

## お詫びと訂正

このたびは、日立アドバンスサーバ HA8000/RS210[2012年11月～モデル](以下 システム装置)またはHA8000/RS110-h[2012年11月～モデル](以下 システム装置)をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

『ユーザーズガイド』に訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

また、「Hitachi Compute Systems Manager」のバンドル開始について本書の巻末に記載しております。ご参照いただきますようお願い申し上げます。

### ■ユーザーズガイド ～導入編～

- ・ 「5 仕様」 「5.1 システム装置の仕様」 「5.1.1 RS210 AM1/DM1 モデル」 (P.62)
- ・ 「5 仕様」 「5.1 システム装置の仕様」 「5.1.2 RS210 BM1/EM1 モデル」 (P.65)

誤		
シリーズ	HA8000/RS210	
モデル	. . .	. . .
. . .		
メインメモリー	サポート DIMM	32768MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM) 2048MB/4096MB/8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1600 SDRAM)
. . .	. . .	. . .
正		
シリーズ	HA8000/RS210	
モデル	. . .	. . .
. . .		
メインメモリー	サポート DIMM	32768MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM) 2048MB/4096MB/8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1600 SDRAM) <del>8192MB/16834MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM)</del>
. . .	. . .	. . .

- ・ 「5 仕様」 「5.1 システム装置の仕様」 「5.1.4 RS110-h HM1/LM1 モデル」 (P.71)
- ・ 「5 仕様」 「5.1 システム装置の仕様」 「5.1.5 RS110-h KM1/MM1 モデル」 (P.74)

誤		
シリーズ	HA8000/RS110-h	
モデル	...	...
メインメモリー	サポート DIMM	32768MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM) 2048MB/4096MB/8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1600 SDRAM)
...	...	...

正		
シリーズ	HA8000/RS110-h	
モデル	...	...
メインメモリー	サポート DIMM	32768MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM) 2048MB/4096MB/8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1600 SDRAM) <del>8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM)</del>
...	...	...

## ■ ユーザーズガイド ～運用編～

- ・ 「3 システム装置の機能」 「3.5 メモリー-RAS 機能」 「3.5.1 オンラインスペアメモリーについて」 (P.46)

表に次の内容を追加

形名	メモリー容量	ランク数
MJ708GL3	8192MB	2
MJ716GL3	16384MB	2
MJ748GL3C	49152MB (16384MB x 3 枚)	2
MJ748GL3SEX	49152MB (8192MB x 6 枚)	2
MJ796GL3SEX	98304MB (16384MB x 6 枚)	2

- ・ 「3 システム装置の機能」 「3.5 メモリー-RAS 機能」 「3.5.1 オンラインスペアメモリーについて」 (P.48)

表に次の内容を追加

搭載メモリーボード	1 チャンネルあたりのスペアメモリー容量
MJ708GL3: 8192MB	4096MB
MJ716GL3: 16384MB	8192MB
MJ748GL3C: 49152MB (16384MB x 3 枚)	8192MB
MJ748GL3SEX: 49152MB (8192MB x 6 枚)	4096MB
MJ796GL3SEX: 98304MB (16384MB x 6 枚)	8192MB

- 「4 運用上の注意事項」 「4.1 VMware 運用上の注意事項」 「4.1.1 vSphere Client の「健全性ステータス」表示の取り扱いについてのお願い」 (P.56)

#### 次の内容を追加



システム装置にオプションの電源ユニットを搭載しておらず、冗長構成ではない場合、vSphere Client の「健全性ステータス」において次のセンサーが「Redundancy lost」(冗長性の失効)となり、ステータスが「警告」と表示されます。

- ・ 「電源」センサーの Power Unit の Redundancy

冗長構成が可能なコンポーネントでありながら冗長化されていないため、上記表示となりますが、エラーではありません。この場合表示を無視してください。

なお、電源ユニットを冗長構成にしている場合エラーが発生した場合、ステータスは「アラート」と表示されます。

- 「4 運用上の注意事項」 「4.1 VMware 運用上の注意事項」 (P.56)

#### 次の内容を追加

### 4.1.2 VMware vSphere ESXi 5.5 使用時のシステム BIOS 設定変更について

VMware vSphere ESXi 5.5 をインストールおよび操作する場合、システム BIOS のセットアップメニューにおいて「EHCI Hand-off」(EHCI ハンドオフ機能) 設定を「Enabled」に変更する必要があります。詳細は『ユーザーズガイド ~BIOS 編~』 「1.2.3 Advanced : 拡張メニュー」 「(8)USB Configuration : USB 機能設定サブメニュー」をご参照ください。

「EHCI Hand-off」の設定を変更せず「Disabled」のままの場合、USB デバイスが動作しません。このためキーボードやマウス、外付けの DVD-ROM ドライブなどが使用できません。

- 「4 運用上の注意事項」 「4.3 システムクロックに関する注意事項」 「4.3.1 UTC 設定の注意事項について」 「(2) VMware の場合」 (P.61)

#### 次の内容を追加

- 「Hitachi Compute Systems Manager」に通知されるアラートの発生日時はシステム BIOS の時刻で表示され、OS の表示時刻から 9 時間遅れた時刻が表示されます。

## ■ ユーザーズガイド ～オプションデバイス編～

- 「3 メモリーボードを取り付ける」3.1 メモリーボードの種類」3.1.1 メモリーボードの種類」(P.18)

誤																																	
<p>メモリーボードは <u>20種類</u>あります。出荷時のメモリー動作モードにより、搭載できるメモリーボードが異なります。また、動作クロックが 1600MHz のタイプと 1333MHz のタイプの 2種類があります。システム装置に搭載するメモリーボードは、<u>動作クロックをすべて同じにする必要があります。</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">形名</th> <th style="width: 33%;">メモリー容量</th> <th style="width: 33%;">動作クロック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">...</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>*1: RS210 CM1モデルはサポートしていません。            *2: メモリー動作モードを「Mirroring」に設定して出荷するための専用形名です。            *3: メモリー動作モードを「LockStep」に設定して出荷するための専用形名です。            *4: メモリー動作モードを「Sparing」に設定して出荷するための専用形名です。</p>	形名	メモリー容量	動作クロック	...																													
形名	メモリー容量	動作クロック																															
...																																	
正																																	
<p>メモリーボードは <u>29種類</u>あります。出荷時のメモリー動作モードにより、搭載できるメモリーボードが異なります。また、動作クロックが 1600MHz のタイプと 1333MHz のタイプの 2種類があります。システム装置に搭載するメモリーボードは、<u>動作クロック、DIMM の種類および容量による制限があります。</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">形名</th> <th style="width: 33%;">メモリー容量</th> <th style="width: 33%;">動作クロック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">...</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">MJ708GL3.*1.*5</td> <td style="text-align: center;">8192MB</td> <td style="text-align: center;">1333MHz</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">MJ716GL3.*1.*5</td> <td style="text-align: center;">16384MB</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">MJ748GL3C.*1.*5</td> <td style="text-align: center;">49152MB (16384 x 3 枚)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">MJ716GL3MEX.*1.*2.*5</td> <td style="text-align: center;">16384MB (8192MB x 2 枚)</td> <td style="text-align: center;">1333MHz</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">MJ732GL3MEX.*1.*2.*5</td> <td style="text-align: center;">32768MB (16384MB x 2 枚)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">MJ716GL3LEX.*1.*3.*5</td> <td style="text-align: center;">16384MB (8192MB x 2 枚)</td> <td style="text-align: center;">1333MHz</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">MJ732GL3LEX.*1.*3.*5</td> <td style="text-align: center;">32768MB (16384MB x 2 枚)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">MJ748GL3SEX.*1.*4.*5</td> <td style="text-align: center;">49152MB (8192MB x 6 枚)</td> <td style="text-align: center;">1333MHz</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">MJ796GL3SEX.*1.*4.*5</td> <td style="text-align: center;">98304MB (16384MB x 6 枚)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>*1: RS210 CM1モデルはサポートしていません。            *2: メモリー動作モードを「Mirroring」に設定して出荷するための専用形名です。            *3: メモリー動作モードを「LockStep」に設定して出荷するための専用形名です。            *4: メモリー動作モードを「Sparing」に設定して出荷するための専用形名です。            *5: <u>動作クロック1333MHzのWideRange Registered DIMM (8192MB/16384MB) は、その他のメモリーボードと混在搭載できません。</u></p>	形名	メモリー容量	動作クロック	...			MJ708GL3.*1.*5	8192MB	1333MHz	MJ716GL3.*1.*5	16384MB		MJ748GL3C.*1.*5	49152MB (16384 x 3 枚)		MJ716GL3MEX.*1.*2.*5	16384MB (8192MB x 2 枚)	1333MHz	MJ732GL3MEX.*1.*2.*5	32768MB (16384MB x 2 枚)		MJ716GL3LEX.*1.*3.*5	16384MB (8192MB x 2 枚)	1333MHz	MJ732GL3LEX.*1.*3.*5	32768MB (16384MB x 2 枚)		MJ748GL3SEX.*1.*4.*5	49152MB (8192MB x 6 枚)	1333MHz	MJ796GL3SEX.*1.*4.*5	98304MB (16384MB x 6 枚)	
形名	メモリー容量	動作クロック																															
...																																	
MJ708GL3.*1.*5	8192MB	1333MHz																															
MJ716GL3.*1.*5	16384MB																																
MJ748GL3C.*1.*5	49152MB (16384 x 3 枚)																																
MJ716GL3MEX.*1.*2.*5	16384MB (8192MB x 2 枚)	1333MHz																															
MJ732GL3MEX.*1.*2.*5	32768MB (16384MB x 2 枚)																																
MJ716GL3LEX.*1.*3.*5	16384MB (8192MB x 2 枚)	1333MHz																															
MJ732GL3LEX.*1.*3.*5	32768MB (16384MB x 2 枚)																																
MJ748GL3SEX.*1.*4.*5	49152MB (8192MB x 6 枚)	1333MHz																															
MJ796GL3SEX.*1.*4.*5	98304MB (16384MB x 6 枚)																																

- 「3 メモリーボードを取り付ける」3.1 メモリーボードの種類」3.1.1 メモリーボードの種類」(P.19)

表に次の内容を追加			
メモリーボードの種類 (形名)	設定	2 枚/チャンネル	1 枚/チャンネル
MJ708GL3 MJ716GL3 MJ748GL3C MJ716GL3MEX MJ732GL3MEX MJ716GL3LEX MJ732GL3LEX MJ748GL3SEX MJ796GL3SEX	AUTO (デフォルト)	1.35V	1.35V
	1.5V	1.5V	1.5V

- ・ 「3 メモリーボードを取り付ける」 「3.1 メモリーボードの種類」 「3.1.3 メモリーの動作クロック」 (P.24)

表に次の内容を追加

メモリーボードの種類 (形名)	メモリーボードの動作クロック *1	動作電圧設定 *2	搭載プロセッサによるメモリーボードの動作クロック		
			インテル Xeon E5-2403	インテル Xeon E5-2440/ E5-2420/ E5-2430L	インテル Xeon E5-2470
<b>MJ708GL3</b> <b>MJ716GL3</b> <b>MJ748GL3C</b> <b>MJ716GL3MEX</b> <b>MJ732GL3MEX</b> <b>MJ716GL3LEX</b> <b>MJ732GL3LEX</b> <b>MJ748GL3SEX</b> <b>MJ796GL3SEX</b>	1333MHz	AUTO	1066MHz	1333MHz	1333MHz
		1.5V			

\*1: ~~1333MHz、32768MB~~のメモリーボードと1600MHzのメモリーボードを混在搭載している場合は、すべてのメモリーボードが1333MHzのメモリーボードの動作クロックで動作します。  
 なお、1333MHz : 8192MB/16384MBのメモリーボードは、その他のメモリーボードと混在搭載できません。

## ■ ユーザーズガイド ～BIOS 編～

- 「2 MegaRAID WebBIOS」 「2.3 MegaRAID WebBIOS の設定項目」 「2.3.4 Controller Properties: ディスクアレイコントローラ設定メニュー」 「(1) Properties: コントローラプロパティサブメニュー1」 (P.72、P.73)

誤		
設定項目	設定内容	設定値／表示
N Spinup Drive Count *3	システム起動時の物理ドライブ起動台数	0 ~ 8 / 【1】 / 【4】 *5
O Spinup Delay *3	システム起動時の物理ドライブ起動タイミング	0 ~ xxx / 【6】 / 【4】 *6
...		
*5 ディスクアレイコントローラボード (内蔵用) は「1」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定してください。		
*6 ディスクアレイコントローラボード (内蔵用) は「6」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定してください。		
正		
設定項目	設定内容	設定値／表示
N Spinup Drive Count *3	システム起動時の物理ドライブ起動台数	0 ~ 8 / <del>【1】</del> / 【4】 *5
O Spinup Delay *3	システム起動時の物理ドライブ起動タイミング	0 ~ xxx / 【6】 / 【4】 / 【2】 *6
...		
*5 <del>ディスクアレイコントローラボード (内蔵用) は「1」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定してください。</del>		
*6 ディスクアレイコントローラボード (内蔵用) <u>【標準搭載】</u> は「6」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に、 <u>ディスクアレイコントローラボード (外付け用: キャッシュバックアップ付)</u> は「2」に設定してください。		

- 「2 MegaRAID WebBIOS」 「2.3 MegaRAID WebBIOS の設定項目」 「2.3.4 Controller Properties: ディスクアレイコントローラ設定メニュー」 「(1) Properties: コントローラプロパティサブメニュー1」 (P.73)

次の補足の内容を削除	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">           ... 補足         </div>	<p>■ 設定値を変更する場合は、...</p> <p>■ <b>「Spinup Drive Count」</b>、<b>「Spinup Delay」</b> の設定は固定されているため、設定値を変更しても反映されません。</p>

- ・ 「2 MegaRAID WebBIOS」 「2.4 論理ドライブの構築と編集」 「2.4.1 論理ドライブを構築する」 「(1) RAID 0,1,5,6 の論理ドライブを構築する」 (P.90)
- ・ 「2 MegaRAID WebBIOS」 「2.4 論理ドライブの構築と編集」 「2.4.1 論理ドライブを構築する」 「(2) RAID 10 の論理ドライブを構築する」 (P.99)

誤		
設定項目	設定内容	設定値
Write Policy *...	ライトポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッシュバックアップ付ではないディスクアレイコントローラの場合： .....</li> <li>・ キャッシュバックアップ付のディスクアレイコントローラの場合： Write Through (ライトキャッシュ無効) / Always Write Back (ライトキャッシュ有効) / <b>【Write Back With BBU (キャッシュバックアップモジュール搭載時のみライトキャッシュ有効)】</b></li> </ul>
...		
正		
設定項目	設定内容	設定値
Write Policy *...	ライトポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッシュバックアップ付ではないディスクアレイコントローラの場合： .....</li> <li>・ キャッシュバックアップ付のディスクアレイコントローラの場合： <u>Write Through (ライトキャッシュ無効) /</u> <u>Always Write Back (ライトキャッシュ有効) /</u> <b>【Write Back With BBU (キャッシュバックアップモジュール搭載時のみライトキャッシュ有効)】</b></li> </ul>
...		
<p>※ キャッシュバックアップ付のディスクアレイコントローラの、「Write Policy」デフォルト値を訂正</p>		

- 「2 MegaRAID WebBIOS」「2.8 MegaRAID WebBIOS の設定値」「2.8.2 設定値一覧」(P.133、P.134)

誤	
項目	設定値
Controller Properties	
Properties	
...	
Spinup Drive Count	[1または4]*2
Spinup Delay	[6または4]*3
...	
...	

\*1 ...

\*2 ディスクアレイコントローラ (内蔵用) [標準搭載] は「1」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定します。

\*3 ディスクアレイコントローラ (内蔵用) [標準搭載] は「6」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定します。

\*4 ディスクアレイコントローラ (内蔵用) [標準搭載] は「Enabled」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「Disabled」に設定されます。

正	
項目	設定値
Controller Properties	
Properties	
...	
Spinup Drive Count	[1または4]*2
Spinup Delay	[6、4 または 2]*3
...	
...	

\*1 ...

\*2 ~~ディスクアレイコントローラ (内蔵用) [標準搭載] は「1」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に設定します。~~

\*3 ディスクアレイコントローラ ~~ボード~~ (内蔵用) [標準搭載] は「6」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「4」に、~~ディスクアレイコントローラボード (外付け用: キャッシュバックアップ付) は「2」に設定します。~~

\*4 ディスクアレイコントローラ ~~ボード~~ (内蔵用) [標準搭載] は「Enabled」に、ディスクアレイコントローラボード (外付け用) は「Disabled」に設定されます。



# 「Hitachi Compute Systems Manager」の バンドル開始について

2013年11月末以降に出荷されるシステム装置に、サーバ管理ソフトウェア「Hitachi Compute Systems Manager」(以降 HCSM)のバンドルを開始しました。次の説明をご一読いただき、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

## HCSM の概要

「HCSM」は、障害や性能・消費電力の監視、システムディスクのバックアップ・リストアなど、システム管理者の負担を軽減し、システム装置の安定運用を支援します。HCSM はエージェントレス管理、仮想化管理、サーバの性能監視などの特長を備えています。

使いかたの詳細は『Hitachi Compute Systems Manager Software, JP1/ServerConductor Blade Server Manager』DVD-ROM (以降 『HCSM, JP1/SC BSM』DVD-ROM) に格納される次のマニュアルをご参照ください。

- 『Hitachi Command Suite Compute Systems Manager Software ユーザーズガイド』
- 『Hitachi Command Suite Compute Systems Manager Software 導入・設定ガイド』をご参照ください。

## HCSM のバンドル形態

「HCSM」は、「JP1/ServerConductor」と共に DVD-ROM に格納されます。

これにより、従来添付されていた『JP1/ServerConductor Blade Server Manager』CD-ROM は、システム装置に添付されません。

このため、ユーザーズガイドに記載の“『JP1/ServerConductor Blade Server Manager』CD-ROM”は、“『HCSM, JP1/SC BSM』DVD-ROM”に置き換えてお読みください。

## HCSM 導入時の注意

1つの管理対象(サーバ)を、「HCSM」と「JP1/ServerConductor」の両方で同時に管理することはできません。

導入時の注意や、「HCSM」と「JP1/ServerConductor」の選択基準については、『HCSM, JP1/SC BSM』DVD-ROM に格納される『サーバ管理ソフトウェア選択の手引き』をご参照ください。